

夕星の下、

僕らは嘘をつく。

八谷紬

他人の言葉に色が見え本当の気持ち
分かってしまう。— そんな特殊能力を持つ
高2の晴は、様々な悲しみを抱え不登校
に…。晴は、ある少年と偶然出会う。た
が、彼の発する言葉には不思議と色が
なかった。なぜなら彼の体には成仏でき
ない霊が憑いていたから。霊を成仏させよ
うと謎を解き明かす中、あまりにも切な
い真実が浮かび上がる。

J3-1 S.A

手のひらの音符

藤岡 陽子

デザイナーの水樹は、自らが服飾業から
撤退することを知らされる。45歳独身。

何より愛してきた仕事なのに……。

途方に暮れる水樹のもとに、中高の同級生・憲吾から、

恩師の入院を知らせる電話が。お見舞いと

帰省する最中、懐かしい記憶が甦る。

幼馴染の三兄弟、とりゆけ、思い出していた

信也のこと。〈あの頃〉か、水樹に新たな力

を与えてくれる——。

人生に迷うすべての人に贈る物語。

J3-2 F.N



四ほ本

10月号

(第52号)

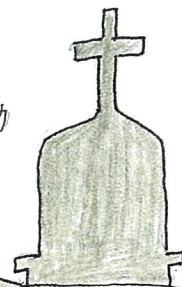
2019年

10月15日発行

西の魔女が死んだ

梨木 香歩

中学に進んでまもなく、どうしても
学校へ足が向かなくなった少女ま
い。季節が初夏へと移り変わるひと
月あまりを、西の魔女のもとで過ごした。
西の魔女ことママのママ、つまり大好
きなおばあちゃんから、まいは魔女の
手ほどきを受けるのだが、魔女修行
で肝心なのは、何でも自分で決める、と
いうことだった。喜びも希望も、もち
ろく幸せも……。



豆の上で眠る

湊 かなえ

小学校一年生の時、結衣子の
二歳上の姉・万佑子が失踪した。
スーパースーツに残された帽子、不審な
白い車の目撃証言、そして変質
車の噂。必死に捜す結衣子
たちの前に、二年後、姉を名乗る
見知らぬ少女が帰ってきた。
喜び家族の中で、しかし自分だけが、
大学生になった今も微かな違和感、
を抱き続けている。
—— お姉ちゃん、あなたは本物
なの？ 辿り着いた真実に足元から
揺れる衝撃の姉妹ミステリー。

J3-5

夜のピクニック

恩田 陸著

夜だから、いつものみんなも違って見える。
私も少し、勇気を出せる。

高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。
これは全校生徒が夜を徹して歩み通す
という、北高の伝統行事だった。甲田貴子は密かな
誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。三年間、
誰にも言えなかった秘密を清算するために……。
学校生活の思い出や卒業後の夢など
語りつつ、親友たちと歩みながら、
貴子だけは、小さな賭けに胸を
焦がしていた。永遠の青春小説。



ササマ